

盗難自転車を取り回した男を検挙



5月9日午前9時30分ころ、中央五丁目をパトロール中、雨の中を濡れながら走行する不審な自転車を発見したため、職務質問を行いました。自転車を確認した結果、盗難被害品であることが判明したことから、運転していた男性を追及したところ、放置されていた自転車を自分の物として勝手に取り回していたことが分かったため、この60歳代の男性を占有離脱物横領事件の犯人として検挙しました。



○ 自転車を盗まれないためには・・・

- ・ 短時間の駐車でも必ず施錠 ・ 施錠の際は二重ロック
- ・ 駐車場所は防犯カメラ設置場所や街灯のある明るい場所
- ・ 自転車購入時には必ず防犯登録



拾った財布を届けなかった男を検挙

5月26日午後4時30分ころ、上蓮花寺三丁目にある商業施設の駐車場で、車のトランクを開けて荷物を整理している男性がいたため声をかけました。

車内にある多くの荷物の中に財布があるのが見えたため、男性の許可を得て財布を確認しました。

すると男性ではない別の人物の品物が入っていたため追及したところ、以前拾った財布を届けずに持ったままだったことが判明したため、この40歳代の男性を遺失物横領事件の犯人として検挙しました。



届けてくれてありがとう



発行所
折尾警察署
TEL 093-691-0110
東中間交番



東中間交番管内		
5月中事件・事故発生状況 (令和7年5/1~5/20現在)		
車上ねらい	1 物件	25
自転車盗	1 人身	1
オートバイ盗	0	
自販機ねらい	0	
侵入盗	0	
その他盗難	1	
性犯罪等	0	

大麻は危険な薬物です

◇ 薬物犯罪の検挙状況 ◇

福岡県警察では、令和6年中、覚醒剤や大麻の所持等で855人を検挙しており、その中には、学生や社会人など一般の人たちが含まれるなど、薬物犯罪が私たちの身近に存在しています。

◇ 令和6年中の県内検挙人員の内訳 ◇

- ・ 覚醒剤 342人
- ・ 大麻 466人
- ・ 麻薬 25人
- ・ 医薬品医療機器法 22人
- ・ 麻薬特例法 30人



乱用されるのは、大麻樹脂、花穂及び葉片であり、主成分のテトラヒドロカンナビノール (THC) が、大麻の薬理・毒性に起因することが明らかになっています。また、最近では幻覚成分を濃縮させた「大麻リキッド」「大麻ワックス」や、大麻を含んだ食品(クッキー、チョコレート、グミ)等の摘発も相次いでいます。



【大麻の精神への有害性・依存性】

大麻の成分である「THC(テトラヒドロカンナビノール)」は、脳内の記憶を司る海馬に影響し、不安やパニック等のほか、精神疾患を発症させるリスクを上昇させるなど、中枢神経に影響するとされ、青少年期の乱用は、特に記憶力や精神運動能力の低下等の影響を受けやすいとされています。

◇ 薬物乱用の蔓延

若年層を中心に大麻の検挙者が急増し、昨年大麻事件検挙者のうち若年層の割合8割を超えており、蔓延と拡大が懸念されています。

大麻の乱用により、いらだち、不安、不眠、うつ等の禁断症状が出現して、依存症になるおそれもあり、青少年期の乱用は更にリスクが高いとされています。

東中間